

令和 4 年度 公益社団法人益田市医師会 事業計画

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
1-1 社会保障制度の 流れと地域の特 性、ニーズに対応 したシステムの整 備・推進	①情報の収集・調査分析	a.国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各機関から収集した重点情報について医師会全体で共有し、対応（方針）を検討する 【統括部】 1.診療報酬の改定情報を注視し、早期に対策を検討する 2.診療報酬の改定等、情報を収集し必要な対応等を検討する	1.診療報酬改定（令和4-6年度） 2.介護報酬改定（令和3-6年度） 3.令和6年度 W 改定 4.第8次医療計画 （島根県地域医療構想の見直し） 5.第8期益田市介護保険事業計画 （令和3年度えっとまめなプラン） 6.働き方改革への対応（医師：R6.4月から） 7.病院機能評価受審（R4.10月）	1.第8期益田市介護保険事業計画（えっとまめなプラン）の内容の検証 ・生きがい活動の推進、外出支援等、「地域に貢献する活動」の実現のための検討 2.令和3年介護報酬改定内容の検証
		b.情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.情報管理室の活用方法の検討 2.総務課内に情報管理室担当者を配置、後進の育成、組織化を目指す 3.医療センター内各部のスムーズな情報交換の方法を検討 4.医療センター内にある情報の把握（各システムで把握可能な情報） 5.現情報発信状況の再確認・確実化	
	②少子高齢化社会に対応した医師会独自の地域医療・介護の体制づくり ・「地域包括ケアシステム」の推進 ・地域完結型社会の構築 ・地域医療、在宅医療への新たな対応	a.地域のニーズの把握	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.社会構造の変化に伴う地域のニーズについて、圏域内の諸会議を通じて把握・共有する。 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約し、ニーズを把握する 2.地域の関連事業所、地域住民のニーズを収集する		
		b.先進事例等の調査と検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.統括部とともに先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取り組みについて検討する。 【統括部】 1.先進事例の情報収集をする		
		c.会員との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める。 【統括部】 1.会員訪問を継続実施 2.医療連携推進コーディネーター配置事業（R4年度から同様のものが新規開始予定）を活用した取り組みの実施		
		d.行政等との連携	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.行政等との連携を密にし、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応を行う。 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業（R4年度から同様のものが新規開始予定）、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める		
		e.医師会独自の「医療・介護推進プロジェクト」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する。 2.「医療・介護推進プロジェクト」の推進方法の再検討を行う。 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業（R4年度から同様のものが新規開始予定）、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業において、保健所、圏域市町との連携し、効果的に進める 2.統括部の各事業所から現場意見を集約する		
		f.地域内完結率の向上	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.統括部・病院事業部と協力し、かかりつけ医との連携強化を図る（在宅療養後方支援病院の円滑運用） 2.各種補助事業等を活用し近隣病院・介護事業所との連携強化を図る（連携会議や定期施設訪問、各種研修会等の実施による連携強化） 【統括部】 1.透析・ターミナル・呼吸器管理・補液のみの患者などを積極的に受入れる。日赤での出張相談を継続実施 2.他圏域の患者の受入れ方法を検討する。 3.近隣の慢性期病院にて療養中の圏域内の方の受入れ促進 萩慈生病院訪問予定		
		g.在宅医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.在宅療養後方支援病院の活用を推進する 2.医療連携推進コーディネーター配置事業が令和3年度で終了となり、訪問診療維持のための新たな仕組み等について検討する。 3.医師会事業部内での在宅医療部門（へき地医療を含む）設立の必要性の検討を行う。 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の登録者を増やす 2.在宅医との意見交換会の実施 3.統括部の各事業所から現場意見を集約する	1.在宅療養後方支援病院の継続 2.在宅酸素療法患者の情報収集の検討	
		h.へき地医療を維持するための体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.へき地での医療拠点確保問題について、益田市と協議を行い、将来に向けた体制作りを行う。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		i.地域密着型サービスや在宅入居への業務進出の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.他法人の地域密着型サービスや住宅入居等の情報収集を行い、地域ニーズを把握する 2.現時点でのこの分野への進出は人員問題で不可。但し現サービスで運営困難になった場合に再考する。 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約する 2.医療近接型住まい、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型共同生活介護など設置の検討 具体的に進んでいないが、今後も検討していく 3.老人福祉施設の設置方法を探る 具体的に進んでいないが、今後も検討していく		
		j.医療度の高い利用者の在宅支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会事業部内での在宅医療部門（へき地医療を含む）設立の必要性の検討を行う。 【統括部】 1.統括部の各事業所から現場意見を集約する 2.在宅療養後方支援病院の活用を進める 3.退院後訪問の充実 4.訪問看護の活用を推進するための働きかけをする（医療連携推進コーディネーター配置事業の活用）		【くにさき苑】 1.胃ろう・インスリン・酸素・ストマ・尿バルン等の管理を、看護師と連携して行いケアの質を向上させて、在宅復帰、在宅生活支援を推進する。 【訪問看護】 1.病院へ出向き、直接情報提供を行うことで看視連携の強化を図る。
		k.医療と介護の地域連携システムの導入と運用	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.益田市スマートヘルスケア事業への協力継続（Iot を活用し血圧データ生活習慣に関する情報共有） 2.MCSCC との babytech での子育て支援の実証試験への協力継続 3. MCSCC との医療ヘルスケアに関する包括協定に基づく、新たな実証実験の検討 4.山陰パナソニックの技術を使った医療介護施設への実証実験を独自に行う。 5.メディアコンテンツファクトリーとの契約に基づく WEB 問診 SymView 運用の開始。 【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター配置事業（R4 年度から同様のものが新規開始予定）、圏域課題解決推進事業で、情報共有ツールを検討 2.地域連携室・包括・居宅介護支援事業所の連携強化、情報の共有化(医療介護連携統括部の管理権限強化、医療・介護連携委員会の機能増強)		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		I.在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市や保健所と協議しながら、円滑に事業を進める 2.在宅医療・介護連携推進協議会で、実施事業の報告と課題解決を図る		
2 医療機能再編への対応			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
2-1 地域医療構想 応じた医療機能 再編に必要な対 策の検討と推進	①「地域医療構想」への 対応	a.「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き情報収集に努め、圏域保健医療対 策会議等を通じて圏域内の意見調整を図りな がら、医師会としての対応方針について検討を 継続する	1.「地域医療構想」について、病院としての対応 を 継続して 検討する	
		b.病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各事業部・統括部と協働し、患者動態や在宅 復帰の状況等のデータを蓄積し、病床再編計 画による病床機能・病床数について引き続き分 析・検討する 【統括部】 1.圏域内医療実務者会議で圏域内完結率をア ップを検討 2.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握 3.当該医療機関との情報交換のシステム作り （電話協議を行い、複数の病院から理解は得 ている） 4.慢性期病床待機者の把握と当該医療機関訪 問（電話協議を行い、複数の病院から理解は 得ている） 5.益田日赤での出張転院相談の継続	1.病床機能再編の検証、次に備えるデータの蓄 積をする 2.患者・利用者の流れ、Patient Client Flow Management（以下、PCFM）の確立 3.当院で可能な病棟機能の検討・明確化	
		c.外来医療の機能の明確化・連携（医療法） 【令和4年4月1日施行】			⇒	【事業本部】 1.医療機関に対し、医療資源を重点的に活用 する外来等について報告を求める外来機能報 告制度の創設等についての分析・検討を開 始。		
	②他医療機関との連携と 役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担 の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員 会の活用 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスームズ な流れの検討	1.PCFMの確立 2.職員に向け、各病棟の役割への理解を深める	
		b.圏域内の他医療機関との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携実務者会議の継続実施 2.益田赤十字病院・地域連携担当者意見交換 会再開 3.在宅医療・介護連携推進のための多職種研 修会の開催	1.他病院との会議等で連携を深め役割分担につ いて引き続き検討する	
	③病床機能ごとの運営方 針の検討と策定 ・急性期機能 ・回復期機能	a.急性期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在院日数、看護必要度、選定療養費など管 理の徹底により受入れ、回転などの促進を図 り、更なる高度な管理を行っていく	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.急性期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.4 階病棟の在り方と PCFM の確立	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	・慢性期機能						5.看護師不足の中、急性期機能の患者数に左右されない体制構築を検討する	
		b.回復期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.回復期リハビリ病棟の入院料 I の継続と稼働率向上	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.回復期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.地域包括ケア病棟の在り方と PCFM の確立 5.回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立 6.コロナ禍の中で回復期・慢性期機能が病院経営の基盤を支えている	
		c.慢性期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療療養病棟入院基本料 I 堅持と稼働率の向上 2.特殊疾患病棟の稼働率向上	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.慢性期機能の在り方について検討する 3.公的病院等 2025 プランにて計画化する 4.医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 5.特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 6.コロナ禍の中で回復期・慢性期機能が病院経営の基盤を支えている	
2-2 地域医療構想に応じた介護機能の対応策の検討と推進	①他介護施設との連携と役割分担の検討	a.医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会の活用 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの検討	1.目的・役割・理念の明文化及び浸透 2.次工程の明確化（PCFM の確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る） 3.各病棟の管理職体制を見直し（師長・主任 2 名の配置）方向性をしっかり職員に落とし込む体制を整える 4.看護部体制が大きく変わる中、体制の構築と新しい管理職への育成と支援	1.週 1 回の病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会を活用し、医療から介護への流れを推進する
		b.圏域内の他介護施設との役割分担の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域医療実務者会議の開催 2.各施設訪問にてニーズの見極め、住み分けの徹底	1.他の介護施設との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する	1.施設訪問等を行い、圏域における老健の役割を検討する
	②機能ごとの運営方針の検討と策定 ・介護期機能	a.介護期機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒		1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.介護期機能の在り方について検討する 3.各機能としての在り方と PCFM の確立 4.介護医療院の機能・メリットを活用する 5.介護医療院での短期入所の検討 6.病棟との連携強化（医療との連携推進、「在宅」機能の活用）	1.通所リハの運営方針の見直し
	③役割分担と必要な体制整備の検討	a.介護医療院としての運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.介護医療院の効果的な利用方法を検討する	1.介護医療院としての在り方と PCFM の確立 2.「日常的な医学管理」「看取りや・ターミナルケア」、介護機能、生活機能「生活施設」の 3 つの機能を持つ体制とする。 3.在宅復帰や他施設への転所による流動性を確保するかの検討 4.介護医療院の機能・メリットを活用する 5.介護医療院での短期入所の検討	
		b.介護老人保健施設としての機能の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療・介護連携委員会にて超強化型老健の要件のチェックを適宜行う		1.在宅復帰機能超強化型の維持 2.サービス内容・体制等についての検討・変更を行う 3.通リハ利用者数の確保のための対策を検討・実施する。

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		c.入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在院日数、看護必要度、選定療養費など管理の徹底により受入れや各病棟、老健の移動などの確に行う		1.長期入所者確保のための対応の継続し 40 人程度を維持する。 2.待機者リスト（院内・在宅）を作成・活用しベッドコントロールを行う。 3.適宜、益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談室との情報交換を実施する。 4.毎週、居宅ミーティングに参加し利用対象者の検討及び確保を行う。 5.リハ科との協働により、医師会病院一般病棟、包括ケア病棟、回復リハ病棟より利用対象者の洗い出し・選定を行う。 6.六日市病院や萩慈生会との情報交換により、利用対象者の洗い出し・選定を行う。
2-3 地域医療構想に応じた在宅医療機能の対応策の検討と推進	①在宅医療への支援・検討	a.調査に基づく在宅医療支援（必要性）の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会事業部内での在宅医療部門（へき地医療を含む）設立の必要性の検討を行う。 【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会により支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
	②機能ごとの運営方針の検討と策定 ・在宅医療機能	a.在宅医療機能の運営方針の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅医との意見交換会で在宅代診医システムを検討 2.会員訪問実施	1.利用者の疾病の特性について調査し整理する 2.在宅医療機能の在り方について検討する	【訪問看護】 1.圏域在住の高齢者の病気の現状や、入退院の多い疾患の調査を検討
	③在宅復帰できない患者・利用者への対応	a.療養病棟の形態変更の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.人力的に困難であることはあるが、障害者施設等入院基本料算定の検討	1.療養病棟の在宅適応患者が退院するための支援体制について検討する 2.在宅困難ケースの増加に伴う、24 時間訪問看護・介護サービスの提供について検討する（医師会全体で） 3.現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方法について検討する 4.医療療養病棟の在り方の検討を行い、介護医療院との連携を検討する 5.在宅サービスの周知と連携の検討	
		b.次工程の明確化（PCFMの確立、患者・利用者をつなぐ・受け取る）	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会で検討 2.統括部内で、病棟～老健～在宅間のスムーズな流れの検討	1.在宅医療への支援体制の必要性について検討する 2.常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する 3.新しい訪問サービス体制について検討する	
3 医療・保健・福祉サービスの提供			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
3-1 益田圏域の医療ニーズへの対応	①癌治療の変化への対応の検討	a.最新の癌治療の情報収集	⇒	⇒	⇒		1.治療方法、治療の紹介先、緩和ケア、終末期等の情報を集積し、必要な提供を行う	
	②高齢者医療の充実	a.高齢者の増加に対応できる診療体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.老年内科医師の検討 2.認知症対応力の強化 3.訪問診療の検討 4.益田圏域に特化した医療（医師）の把握・強化	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.高齢者の増加に対応できる看護体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.増加する高齢者に対応できる看護体制について検討する 2.夜勤の負担軽減（看護補助者の夜勤導入等）について検討する 3.夜勤3人体制を目指す	
		c.高齢者の療養環境の整備充実	⇒	⇒	⇒		1.ICT（見守り機器等）の導入活用の検討 2.院内デイケアの検討・整備	
	③増加が懸念される疾病への対応	a.糖尿病患者を支援できる体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.糖尿病支援ネットワーク事業を推進する 2.糖尿病療養指導士の資格取得・継続支援を推進する 3.院内に在籍している療養指導士等の活用について検討する 4.のぞみ会の活性化 5.腎臓内科との連携	
		b.肺炎等増加する疾病への対応の確立	⇒	⇒	⇒		1.増加する肺炎等へのより適切な対応について検討する 2.誤嚥性肺炎等、歯科医師会、歯科衛生士会、言語聴覚士等での協働 3.摂食嚥下障害看護認定看護師の育成を検討する（点数化への取組） 4.呼吸器内科専門医との連携	
		c.慢性腎臓病（CKD）等腎臓疾患への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.透析が必要となれば、状態に応じて、医療療養病棟・くにさき苑の使い分けを図る	1.腎臓内科開設を機会とし、益田圏域での中核的な役割を目指す 2.CAPD 管理の構築（既存症例の管理継続と新規症例の受け入れ） 3.管理栄養士活用による栄養指導の推進、集団指導の開始	
	④独居等の環境要因による入院への対応	a.在宅生活の維持が困難な方や通院手段がないなど社会的入院への対応	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.レスパイト的入院、くにさき苑短期入所・入所の使い分けの促進。 2.病床活用カンファレンス、医療・介護連携委員会で協議	1.介護医療院での短期入所の検討 2.地域包括ケア病棟での在宅直入の対応強化 3.医療療養病棟でのレスパイトの受け入れ検討 4.介護医療院の機能・メリットを活用	
	⑤増加する認知症患者への対応	a.認知症患者の療養環境の充実	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働	1.認知症へ対応できる体制について検討する 2.認知症ケアの質向上のため人材（認定看護師、認知症介護基礎研修等）を育成する 3.認知症高齢者増加対応として院内デイケアの設置を検討する 4.レクリエーション可能な院内デイサービス、宅老所の設置等について検討する 5.ICT を活用した見守りシステムの検討・整備	
	⑥リハビリテーション医療の充実	a.入院リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.入院リハ単位数増加（125,000 単位/年） 2.リハ目的の入院の増加 ・一般病棟・地域包括ケア病棟の 365 日リハの実施 ・各病棟におけるリハ機能の明確化 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立 ・病院療法士必要数の確保（PT20 名、OT15 名、ST5 名） ・リハ診察時の負担軽減への取組	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.外来リハの機能充実	⇒	⇒	⇒		1.外来リハ単位数増加（11,000 単位／年） 2.紹介件数の増加 ・紹介件数の集計と分析体制の確立 ・リハ対象者のパンフレット作成、見直し化システムの確立 ・開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政などに対する定期的な啓発活動のシステム化の確立	
		c.地域活動の充実	⇒	⇒	⇒		1.地域ケア会議への参加 2.介護予防事業へ参入 ・地域ケア会議・介護予防に関わる職員の育成・登録推進 ・行政など関係機関との連携体制の確立 ・市内他施設の療法士との連携体制の確立	
3-2 益田圏域の保健等ニーズへの対応	①予防医療の推進	a.人間ドック受け入れ枠の拡大	⇒	⇒	⇒		1.医師等の確保に努める 2.午後の検診、サンデー検診、レディース検診の実施について検討する 3.コロナ禍の中での検診業務の在り方を検討する 4.スマートヘルスケア事業への協力	
	②休日健診の検討	a.休日健診の実施検討	⇒	⇒	⇒		1.休日健診の実施について検討し、体制についても検討する 2.休日乳がん検診に加えて、休日レディース検診として、子宮がん検診とセットで行うなどの取り組みについて検討する 3.仕事の効率化等、人員不足の解消策について検討する	
	③予防の推進活動（予防の重要性の周知）	a.健康予防の情報提供、健康相談の充実	⇒	⇒	⇒		1.益田地域産業保健センターとの連携を強化し予防活動を推進する	
		b.普及啓発活動の実施	⇒	⇒	⇒		1.あらゆる機会を通じ、予防の重要性等について周知する	
	④特定保健指導の推進	a.特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制整備の実施	⇒	⇒	⇒		1.動機付け支援の検討	
3-3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	①入所サービスの充実	a.増加する認知症高齢者への対応検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院、認知症疾患医療センターとの連携強化、定期的な利用相談体制の確立。 2.認知症初期集中支援チームの活用、協働		1.認知症ケア委員会を多職種で開催し、勉強会を企画・実施する。 2.認知症実践者研修の受講。
		b.かかりつけ医、精神科医、歯科医師会・薬剤師会との連携強化のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.迅速な情報提供・共有による連携強化に努める。
		c.ケアプランの充実のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.ケアプラン係を中心に、ケアプランの点検や作成手順についての勉強会を開催する。 2.施設内外で開催される研修会への参加
	②レスパイトケア・緊急入所に対応した短期入所療養介護の充実	a.休日・夜間における緊急受入体制の確立	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用		1.看護部との協働により、緊急受入手順の見直しを行う。 2.対応手順の周知を図る
		b.医師会他事業所との連携による支援体制の構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療介護連携統括部主導によるベッドコントロール・権限強化		1.支援体制強化のため、病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会・居宅ミーティングでの情報共有・連携に努める。 2.地域連携室・医療介護相談室との連携および医師会病院・南棟部署との協同によるサービス提供を行う。 3.統括部ミーティングにおいて、地連、日赤より得た情報をもとに利用対象者の検討を行う。

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	③通所リハサービスの充実	a.個別性、継続性のあるサービスの提供	⇒	⇒	⇒			1.カンファレンスのあり方の見直しをする。 2.各利用者に合ったプランを多職種で検討する。
		b.成果の総合的評価と情報提供	⇒	⇒	⇒			1.情報提供の方法を見直す。
		c.通所リハビリテーションの役割（あり方）の検討	⇒	⇒	⇒			1.現状の調査・分析、検討を継続する。 2.他施設の状況を調査する。 3.研修会へ参加する。 4.通所リハの方針・ビジョンの見直し。 5.災害時等、休業時の対応を整備する。
		d.リハビリテーションマネジメント加算 A・B 取得するための体制づくりを目指す	⇒	⇒	⇒			1.リハビリテーションマネジメント加算 A・B の算定体制の確保。 2.リハビリテーションマネジメント加算 A・B 算定のため、対象者の選定基準、手順を確立する。
		e.生活行為向上リハビリテーション実施加算の算定を目指す	⇒	⇒	⇒			1.算定要件を満たす研修の受講 2.対象者選定のための体制づくり
	④訪問看護サービスの充実	a.他事業所（病院・施設・居宅等）との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.退院前カンファレンス等、他事業所との会議への参加。 2.退院後の様子を病院へ情報提供する 3.事例検討会等を開催する
		b.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.事例の振り返りや技術研修を行う。
		c.新たな訪問看護サービスの検	⇒	⇒	⇒			1.会員アンケートの実施。
	⑤居宅サービスの充実	a.行政や地域の状況を収集、把握するための取り組み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携強化（情報交換・共有体制の構築） 2.医療・介護連携委員会の活用（病院～老健～在宅間の流れの構築）		1.年 2 回開催される介護支援専門員連絡会への参加と伝達研修の実施
		b.困難ケースの積極的な受入れのための取り組み	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携強化（情報交換・共有体制の構築） 2.地域福祉権利擁護事業、生活困窮者自立支援事業の活用 3.病院事業部・くにさき苑事業部との情報交換、緊急時の対応依頼		1.地域包括支援センターとの連携を強化する 2.（分離される）中部包括支援センターとの連携体制を構築する。
	⑥訪問介護サービスの充実	a.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒			1. e ラーニング等を活用し積極的に研修会、勉強会に参加する。 2「自己評価表」による自己評価を実施する。 3.接遇やケアの統一を目的とした利用者アンケートを実施する。 4.調査結果を分析し、必要に応じてケアの見直しを行う。
	⑦訪問リハサービスの充実	a.ケアの質向上のための取り組み	⇒	⇒	⇒		1.研修会や施設内勉強会への参加による人材育成 2.介護支援専門員との意見交換の体制確立（訪問調査等） 3.訪問リハ終了後の社会参加に関する情報収集のシステム化 4.他施設の状況や当事業所に関するデータ分析	1.研修会や施設内勉強会への参加による人材育成に努める。 2.病院の訪問リハと連携、介護支援専門員との意見交換を積極的に行う。 3.カンファレンスを充実させるため、医師のカンファレンス参加回数の増加を図る。 4.介護支援専門員向けに訪問リハ普及のための

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							等により、益田市における訪問リハの在り方を明確にする	説明会を実施する。
4 利用者サービスの向上と創出			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
4-1 利用者サービスの向上	① 安全な医療環境の整備	a.安全管理者の養成	⇒	⇒	⇒		1.看護部以外の医師、診療部、事務部でも医療安全管理者の養成を行う 2.安全管理者の介護医療院への配置	1、次の安全管理者の育成のための方法を検討する。
		b.医療事故発生時の対応体制の確立	⇒	⇒	⇒		1.法律等の施行に合わせた体制の更新等を実施する	
		c.臨床工学科の機能の強化による医療機器の安全の確保	⇒	⇒	⇒		1.臨床工学科の継続的な人材の育成・確保について検討する 2.体制の見直し（病院機能評価受審に向けて総務課と協働する中で検討していく）	
		d.院内感染対策の充実に向けた取り組み	⇒	⇒	⇒		1.標準予防策遵守に必要な環境の整備を行う・院内清掃について見直しを行う	
		e.院内感染発生時の対応の強化	⇒	⇒	⇒		1.ICT 活動を充実（時間の確保）する 2.保健所との連携を強化する 3.感染防止対策地域連携加算の継続 4.益田赤十字病院・松ヶ丘病院との連携の継続 5.アウトブレイク時の担当者支援体制の構築 6.後進の育成 7.介護医療院への感染対策担当者の配置	1.介護施設としての新型コロナ感染予防・対策を他職種で協議し、くにさき苑感染 B C P 案（感染対策マニュアル）として取りまとめる。（→医療センター感染 BCP の作成の検討）
		f.薬剤科による安全な薬剤管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.薬剤の安全性の向上 2.薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携 3.介護医療院の薬剤管理体制	
		g.放射線技術科による安全な放射線管理の充実	⇒	⇒	⇒		1.医療放射線安全管理責任者を中心とした医療放射線安全管理体制整備の構築	
	② 緩和ケア（在宅・院内）への対応	a.緩和ケアチームの体制強化	⇒	⇒	⇒		1.緩和ケアチームの体制強化について検討する ・緩和ケアチームの継続と強化 ・入院・外来・在宅ケアチームの確立と連携 ・認定看護師の介入による実践力強化	
	③ N S T や褥瘡などの診療の質を上げる委員会の活用	a. N S T や褥瘡などの診療の質を上げる委員会の運営方法の再検討	⇒	⇒	⇒		1.栄養サポートチーム加算取得を目指し再検討する	
	④ 診療・看護・介護の質を上げるための組織体制づくり	a.診療の質を上げるための部門の検討	⇒	⇒	⇒		1.皮膚・排泄ケア及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成について検討する 2.排尿自立指導料取得のための専門看護師の検討（点数化への取組）及び、排尿ケアに係るチームの設置し、専任看護師の養成を検討	
		b.診療の質を上げるための「働き方改革」の推進	⇒	⇒	⇒		1.一人一人の生産性の向上と向上のための教育・支援体制の構築と機会の提供	1.判定会議に出席する人数の適正化を図る(セラピスト)。 2.リハビリ実施単位数の増加による時間外労働等への影響を調査する。
		c.既存部署毎に診療・看護・介護の質を上げるための対応策の実施	⇒	⇒	⇒		【共通】 病院機能評価受審に向けて各部署 と協働する体制を構築、各部署の課題・問題点を表面化させ、協働する体制を構築し、各部署の充実	1.看介護 ・LIFE の仕組みを活用し、施設ケアの PDCA サイクルを推進する。 ・安全対策体制加算の算定を維持し、インシデ

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						を図る。併せて次世代の育成も図る 【診療部】 1.人材確保、人材育成、スキルアップ支援 ・職能団体等の育成教育研修等の活用を図る ①薬剤科 1)病棟薬剤業務実施加算取得への取り組み 2)病院薬剤師会認定薬剤師の育成 3)がん、緩和、感染、栄養、腎臓病、糖尿病、精神、老年薬学等、各種専門性を有した薬剤師の育成 4) バイオ後続品導入初期加算指導料算定への連携 ②放射線技術科 1)計画的な機器整備と補助金の確保 ③リハビリテーション科 1)計画的な機器整備 2)センター内におけるリハ機能の明確化と啓発 3)365 日リハ提供体制の検討（一般病棟、地域包括ケア病棟） 4)地域ケア個別会議や介護予防事業等への連携体制の確立 ④臨床検査科 1)日本臨床衛生検査技師会 精度保証施設認証制度への検討 ⑤臨床工学科 1)透析室との協働 2)内視鏡室との連携、他診療部との連携 ⑥栄養科 1)栄養管理の充実・質向上 2)病棟看護師等の負担軽減のための取り組み 3)管理栄養士の病棟配置の検討と業務調査 ・管理栄養士病棟（常駐）配置 ・栄養管理の充実・質向上 ・病棟看護師の負担軽減 ・他施設機関への栄養情報提供強化 ・病棟業務の作業分担、業務の調査、検討 ・配置病棟時間の検討 ・給食管理業務、その他業務の見直し、業務量調査 ・部門業務の整理（管理栄養士でなくてもできる業務） ・科学的介護情報システム（LIFE）への対応 ⑦医療介護相談室 ・患者・利用者の流れ（PCFM）の把握と構築（Patient Client Flow Management） 【看護部】 ・看護部体制が大きく変わる中、新たな体制の構築と新しい管理職への育成と支援の実施 1.人材育成、スキルアップの支援 2.次世代管理職候補の選定と育成	ントの共有、事故の分析・対策の体制を強化する。 ・高齢者虐待防止・人権擁護を推進するために、研修会に参加し伝達講習を行う。 ・外国人技能実習生受入事業の準備を通して、介護の質の向上を図る。 ・学研ナーシングサポートを活用し知識の向上を図る。 2.通所リハビリテーション ・運転手も含めた介護技術や接遇の勉強会を定期的に開催する。 ・体制変更に伴い、職員の意識改革を図る。 ・必要人員数を調査し、確保に努める。 3.リハビリテーション科 ・グループ会議をサービス(入所・短期入所)ごとに実施し、より綿密にサービスの質向上のための検討を行う。 ・各サービスにおけるリハビリの役割やあり方を明確にする。 ・リハ機能強化のための機器整備を計画的に行う。 ・必要な人員数の確保。 ・リハ科・看護部共同による勉強会の開催。 4.相談員 ・他施設相談員・介護支援専門員との情報交換を行う。 ・ケアマネ協会が開催する研修や外部研修に積極的に参加する。 ・LIFE に必要なアセスメント・データ入力業務を確実に行う。 5.栄養科 ・栄養マネジメント強化加算算定に向けた準備を行う。 【訪問看護】 1.事業所内の技術研修の実施、および外部研修への参加 2.研修報告会を開催し、研修内容の伝達・実施を図る。 3.事例検討、インシデント報告等によるサービスの振り返りを行う。 【訪問介護】 1.年 2 回、サービス提供責任者がサービス計画の確認、および要望の聞き取りを実施する。 2.毎月開催の定例会において、インシデントや事故について分析を行い、再発防止のための対策を検討する。 【居宅介護支援事業所】 1.3 カ月に 1 回事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図る	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							3.師長・主任の認定看護管理者教育課程への計画的な参加（毎年度、2名程度参加） 4.管理職へ理念の浸透と経営意識形成と醸成 5.認定・特定・医療安全等への人選と育成支援 6.看護部の働き方改革 ・看護部事務クークの配置の検討 ・看護部内タスクシフト・シェアの検討 7.教育の支援体制 ・各自で学べるeラーニングを継続し、コロナ禍でも学習機会の提供、また自己学習や院内研修にも役立てる（看護・介護職員対象） 8.TQM活動にて、主任職への教育プログラムを作成・実施する ①外来 1)内視鏡検査技師の育成 2)病棟応援体制の構築 ・入院時、病棟応援看護師業務の確立 ②手術室 1)病棟応援体制の検討 ・日当直時、手術対応患者来院の際の応援体制の検討 ③保健予防センター 1)保健予防センターの機能促進 2)健診枠の拡充 ・人間ドック受入れ人数の増加 ・特定保健指導の実施（管理栄養士との協力体制が必要） ・疾病予防のための活動の推進（休日乳がん検診、休日検診、事業所健診、特定健診などの実施） ・健康教室の開催（メンタルヘルス対策への外部活動） ・ストレスチェック事業 ・心の相談業務など ・職員の健康保持増進についての支援の取組み ④医療安全対策室 1)安全な医療・介護の提供 ・リスクマネジメントにおける職員教育 ・多職種協働、患者参加の推進 ・職場環境の整備 ・安全な医療機器の取り扱い ・部門間の協力、情報共有 ・改善活動の推進 ・転倒・転落防止対策 ・医療事故対応 ⑤感染対策室 1)感染対策環境の充実 2)感染管理認定看護師の育成 ※病棟に関しては7-2・3・4にて	・オンラインの活用等により積極的に研修会へ参加し、伝達研修を実施する。

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							【事務部】 ・病院機能評価を通じて全体の取りまとめ、調整、情報共有、方向性を支持する役目を担い、事務職員としてのマネジメント能力を高める 1.人材育成、スキルアップの支援 ・スキルアップのための資格取得への支援 2.事務職員として理念の浸透と経営意識の形成 3.組織ビジョンの共有と実現のために「自ら考え行動する」 4.「変化・変革」に対応するイノベーターシップ（マネジメント＋リーダーシップ）の醸成 5.医療・介護現場からのタスクシフト・タスクシェアの検討及び実践 6.令和 4 年度、病院機能評価受審を成長の機会とする 7.事務職員としての必要なスキルの把握と周知 8.令和 5 年度医療マネジメント学会事務局としての準備	
4-2 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a.広報活動体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.各事業部と連携して、効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	1.効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う	
		b.情報誌（双葉他）の魅力化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化。 【統括部】 1.連携室だよりの発行と充実	1.魅力ある誌面作りについて検討する	1.魅力ある誌面作りについて検討
		c.リニューアルしたホームページの活用	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化 【統括部】 1.在宅医療介護連携推進事業内容を適宜更新する 2.統括部の役割・体制について掲載内容を充実させる		
		d.インターネット（HP・SNS）の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化	1.インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する	
		e.関係機関や地域への広報の実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.業務支援課準備室による情報発信の強化	1.多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する	
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進			計画年度			事業本部・その他		くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
5-1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営体制	a.会員医師と職員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.会員医師との連携を強化し共同利用の推進に努める 2.会員と常勤医師の協議の場を設定する 3.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う	
		b.より良い関係構築のための方策検討	⇒	⇒	⇒		1.毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する 2.医師会各施設より、幅広い情報提供を行う	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		c.地域医療介護連携統括部による会員との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.会員の要望を的確に収集し、関連部署に連絡	1.各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する 2.地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図り、会員に適切な情報を提供する	
	②地域医療支援病院としての機能の充実	a.紹介患者に対する医療の提供 紹介率の向上対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用 2.紹介患者のスムーズな受け入れ	1.会員との連携強化（紹介方法・受入態勢等）について検討し実施する 2.退院調整能力の向上について検討し、紹介率の向上を図る 3.地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化 4.退院調整看護師の増員等による退院支援の充実について検討する 5 入院時の対応強化と退院調整への流れの確立（点数化への取組）	
		b.救急の維持対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.日赤との連絡会議で検討 2.救急車の受入れ推進	1.圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う 2.会員の協力体制について検討する	
		c.共同利用の促進対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.会員訪問結果の分析と活用	1.医療機器等の共同利用の更なる利用について検討し、利用率の向上に努める 2.ニーズ・必要性・経営等、多角的に検討し最新医療機器・備品の整備を行う 3.医療材料等の共同購入の検討	
		d.地域の医療従事者に対する研修の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医療連携推進コーディネーター事業（R4年度から新規開始予定）、圏域課題解決推進事業、在宅医療介護連携推進事業を活用した研修会の開催、介護事業所での出前研修の開催	1.会員医療機関、介護施設他の従事者に対して医師会研修会の開放を行う 2.医師会医師会、薬剤師会との共同の研修会を開催する 3.病院・くにさき苑が研修受入機関となり研修生を受け入れる 4.島根大学医学部附属病院スキルアップセンターとの協働	
		e.かかりつけ医の支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.在宅療養後方支援病院の積極的な利用 2.在宅医との意見交換会で支援策を検討 3.退院後訪問や訪問看護の活用を検討	1.在宅療養後方支援病院として、かかりつけ医の診療支援 2.対応困難な診療への支援 3.休診・休日・夜間の支援体制の検討 4.医師会員のニーズに対応した体制の検討	
		f.医師少数地区等を支援対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.医師の意見交換会で検討	1.地域医療拠点病院としての事業を展開する	
	③開放型病棟、手術室の利用促進	a.会員の手術室利用の強化	⇒	⇒	⇒		1.耳鼻咽喉科手術体制の継続	
	④共同利用検査機能の充実（臨床検査センター以外の検査）	a.検査の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒		1.効率的な運用により予約枠の拡大について検討する 2.放射線検査オンライン予約システムの導入について検討する 3.放射線検査画像、検査レポートの受け渡し方法について検討する	
		b.既存検査機能の拡大	⇒	⇒	⇒		1.検査機能の補完（益田赤十字病院の検査部門をバックアップ機関として使用させてもらうための協議を行う（検査項目、手順））について検討する	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	④臨床検査センターの安定した運用						2.検査機能の拡大（不妊治療のための検査設備の充実（外来部門、採精室の整備））について検討する	
		c.最新検査機器の整備検討	⇒	⇒	⇒		1.ニーズ・必要性・経営等を踏まえ、毎年高額機器等購入計画で整備を行う 2.整備にあたっては補助金を検討し、活用する	
		a.臨床検査センターの運用データの収集	⇒	⇒	⇒		1.開設以降の各種データを収集・蓄積する	
		b.臨床検査センターの運用について会員意見聴取	⇒	⇒	⇒		1.医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う	
		c.臨床検査センターの運用方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.収集したデータ・意見等を元に運用方法について検討する 2.臨床検査センター独自での検体取扱件数増加への取り組みの検討（スマートヘルス事業への協力や給食施設の検便等） 3.保健予防センター（企業検診等）との協働の検討 4.益田市スマートヘルスケア事業への協力	
	⑤透析室の安定した運用	a.透析部門の組織化の検討	⇒	⇒			1.透析部門の確立	
		b.必要な人員・機材の確保	⇒	⇒	⇒		1.患者数に応じた人員・機材の確保 2.器材の標準化。それによる材料費削減・益田赤十字病院との標準化	
		c.取り扱い患者の増加	⇒	⇒	⇒		1.新規患者の受け入れ ・旅行患者・里帰り患者の受け入れ開始 ・送迎サービスの検討 ・透析高齢者の受入可能施設の増加を推進 ・患者様増加時、1日2クール体制への取組 2.腎臓内科を含めた今後の透析患者の把握	
		d.新規診療報酬算定項目の情報収集と推進	⇒	⇒	⇒		1.透析リハビリテーション料の開始 2.血液透析アクセス日常管理加算の検討	
	⑥共同利用施設としての介護施設の利用促進	a.介護医療院、介護老人保健施設の入所利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れ	1.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立（Patient Client Flow Management） 2.介護医療院の機能・メリットについて活用する	1.統括部と協働し、会員の利用（紹介）促進を図る。 2.利用に関する情報提供と利用状況の分析を行う。 3.集中的なりハビリを提供できるように体制を強化する。
		b.短期入所、通所リハの利用者の会員紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れ	1.介護医療院における短期入所の検討	1.週2回の空床状況の連絡を継続する。
		c.訪問看護、訪問リハ、訪問介護の会員利用者の紹介数の向上の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする	1.訪問リハでの診察への対応検討	【訪問看護】 1.訪問診療に適宜立ち会い、訪問看護の関りを伝える。 2.積極的に紹介を受け入れる。
		d.居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの会員との連携強化の検討	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.利用方法のPR 2.会員訪問結果の分析と活用 3.紹介患者のスムーズな受け入れをする		【居宅介護支援事業所】 1.積極的な紹介受入れを継続する。 2.MCSを活用し適切な情報提供を行う。

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
5-2 医師会としての 会員支援の検討	①開業・廃業・継承時の 支援	a.支援方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.山陰合同銀行とタイアップした支援業務のマニ ュアル化の推進		
	②会員医療事故への対 応	a.医療事故支援体制の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医療事故研修会等への参加を促進する 2.医療事故相談体制について検討する		
	③診療所経営に関する支 援	a.診療報酬等の算定支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修会等の実施 2.適正在庫での購入方法の検討		
		b.薬剤診療材料削減方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学術講演会及び病院主催の技術研修会の開 催等の実施		
	④会員医師の生涯教育 の推進と技術の向上	a.医療技術の生涯教育への支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.マニュアル化を進める		
	⑤三師会共同の取り組み の推進	a.歯科医師会・薬剤師会と連携した取り組みの 検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.糖尿病の医科歯科薬科連携事業（島根県 歯科医師会 地域保健部が主体で実施）に 協力の継続	1.適切な薬剤選択支援	
6 地域社会への貢献			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
6-1 大規模事故・災 害時の援助体制 の整備充実	①大規模事故・災害援 助体制の確立と支援 体制の整備	a.災害時の益田市医師会の役割の確定 ・益田地域災害医療対策会議への参加	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等での情報収集及び益田市地域防災計 画の理解を深め、防災対策委員会で周知を 図る 2.新型コロナウイルス感染防止に対応し、ワクチン 接種事業への参加、行政や関係機関との協 業体制づくり		
		b.大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通 信方法の確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛星電話等、大規模災害時の連絡体制の確 保を検討する 2.職員への一斉通知・安否確認等の方法につい て、整備を検討する		1.無線の更新にあたり、災害時に強いVゲートト クの整備。
		c.大規模事故・災害対応に関する規程類の作成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地震に関する BCP の作成。 2.介護施設での感染に関する BCP の雛形の作 成。	1.本部と協働して BCP（危機管理における事業 継続計画）の作成。今後、各部署単位での 検討に移行する。次段階として感染症流行時 の事業継続計画の作成	1.災害・感染 BCP の作成
		d.行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、 医師会独自の訓練の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.石見空港航空機事故消火救難総合訓練等 を通じた外部訓練への参加 2.地域住民参加型の院内防災訓練の継続		
6-2 労働者の健康管 理への支援	①認定産業医のスキルア ップ	a.認定産業医のための研修会の開催	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.産業医部会事業として研修会等の開催を継 続する。		
	②地域産業保健センター と協働した健康管理	a.地域産業保健センターとの連携・協働	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.従業員 50 人未満の事業所に対し、地域産業 保健センターを中心に健康管理活動を継続す る。		

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
6-3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a.教育委員会及び学校等との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて学校等との連携の強化に努める。（医師不足への対応を検討する。） 2.益田市要保護児童対策地域協議会の普及活動に協力する。		
		b.養護教員等の医療知識向上の協力	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.学校医部会・園医部会の活動を通じて養護教員等の医療知識向上に協力する		
6-4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a.医師会まつりの活性化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師会まつりの活性化に向け検討結果を具体化する。		
		b.その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う。		
6-5 地域社会貢献の検討	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a.現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会員アンケート調査等の結果を踏まえ可能な社会貢献について検討する。		1.現在の活動状況の把握。 2.新たな貢献活動の検討開始。
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a.地域社会活動への会員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.情報提供等を行い参加の促進に努める 2.地域住民の参加でき、地域での暮らしを支援する企画を検討する。		
		b.地域社会活動への職員の参加促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める。		
6-6 地域社会活動の支援促進	①地域社会活動に企業ボランティアとしての支援方法の検討	a.地域社会活動に継続的に支援できる方法の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.地域社会活動へ医師会としての支援の方法について検討する。		
		b.地域イベントに医師会救護班等の人的支援の促進の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き医師会の人的資源を活用した支援について推進する。 2.引き続き医療救護班への派遣、地域行事・学校行事への派遣等を実施。		
7 安定した経営基盤の確保			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
7-1 医師会組織の安定した経営基盤の確保	①中長期計画の着実な実行のための組織・体制の構築	a.効率的でわかりやすい組織の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.中長期計画の着実な実行のための組織・体制の検討 2.中長期計画第4期実施計画（R05年度スタート）の体制の検討		
		b.ガバナンス体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.公益法人運営の重点事項として、しっかりとした統治が行える体制の構築について不断的努力を行う		
		c.規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.規則、規程類を整合性・不備等について検証し、必要な見直しを行う		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	②コスト意識と法律に基づく適正な会計の実施					2.公益法人運営の重点事項としてコンプライアンスの徹底について不断の努力を行う		
		a.コスト意識と、経営への参画意識の醸成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.研修及び勉強会等の実施により、経営の安定があって、発展につながるとの意識を持った組織を目指す 2.業務の改善に当たっては、常に費用対効果を判断基準のひとつにおき推進する		
		b.コスト管理を重視したシステムの導入 ・原価計算の導入 ・業務の外部委託の是非 ・業務効率化のための本部システムの検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.事業ごとの病棟別等収支状況の分析を継続する 2.電子帳簿保存制度等の導入についての検討を行う。		
7-2 病院 一般病棟の安定した運営	①計画的な一般病棟の利用促進	a.3 か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3 年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討	
	②利用率低下への対応	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1. 4 階病棟の在り方と PCFM の確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.センター内の患者移動（病院～老健～在宅間の流れ）を効果的にする 3.周辺施設との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.周辺施設との連携強化 3.病床活用カンファレンスの有効利用	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.会員訪問結果を活用し、紹介しやすい体制をつくる 4.在宅療養後方支援病院の活用推進	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導（集団・個人）の継続	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬・介護報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.療養病棟、回復期リハ等の入院料維持のための迅速な病棟間連携 3.地域包括ケア病棟の更なる活用	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.個室の利用促進	
7-3 病院 地域包括ケア病棟の安定した運営	①計画的な地域包括ケア病棟の運用	a.3 か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3 年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討 2.地域包括ケア病棟の更なる活用	
	②利用促進方法の検討	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.病床稼働率、在院日数、必要度の動向把握	1.地域包括ケア病棟の在り方と PCFM の確立 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.センター内の患者移動（病院～老健～在宅間の流れ）を効果的にする 3.周辺施設との入退院連携を進める	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議（益田赤十字病院）の継続など周辺施設との連携強化 3.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							4.自宅等からの地域包括ケア病棟への受入（レスパイトの受け入れも必要）	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れ 2.患者数確保ため会員へ空床情報を提供 3.直入患者の受入を増やす 4.在宅療養後方支援病院の活用推進	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導（集団・個人）の継続 4.リハ目的の入院患者数の増加	
		③収益の増収方法の検討	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.患者確保と迅速な病棟・施設間連携	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.個室の利用促進（包括ケア病棟での RE-Gait 入院の受入）	
7-4 病院 特定病棟（回復期リハ・特殊疾患・医療療養病棟）の安定した運営	①計画的な特定病棟の運用	a.3 か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3 年の病棟再編計画の検証と、国の計画延長による更なる検討	
	②利用者減少への対応	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.対象患者の情報収集をし、待機者確保により病床稼働率を上げる	1.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立（Patient Client Flow Management） 2.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす	
		b.効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.統括部カンファ、病床活用カンファ、医療・介護連携委員会での管理体制強化。困難ケースの洗い出し、在宅部門からの受入れ、受け入れ病棟の選定 2.紹介患者のスムーズな受け入れ	1.会員との情報交換の充実 2.連携会議（益田赤十字病院）の継続など周辺施設との連携強化 3.病棟活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.患者確保と迅速な病棟・施設間連携	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.圏域外慢性期病院からの紹介の促し、状態の把握 益田日赤、六日市病院、萩慈生病院と検討中。益田日赤での出張転院相談の継続 2.居宅介護支援事業所からの紹介の促し	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保 3.紹介栄養指導（集団・個人）の継続	
	③収益の増収方法の検討	a.診療報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.常に次期改定を視野に入れて、情報を蓄積し対応策を検討する 3.療養病棟 1、回復期リハ 1 の維持	
		b.診療報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.調査・検討を続ける	
	④回復期リハ病棟の効率的な運用	a.回復期リハ病棟に関する情報収集と分析	⇒	⇒	⇒		1.回復期リハ病棟の在り方と PCFM の確立	
		b.回復期リハ病棟の施設基準 3 の維持と 1 への取り組み	⇒	⇒	⇒		1.治療成績（FIM）の向上検討・対策へ計画をシフトする 2.回復期リハ病棟入院基本料 1 の維持 3.早期の受け入れ、1 日に 2 名の入院受入 4.明確な病棟目標の明示と目標達成への取組 ・実績指数 40 点以上 ・入院期間利用率 55%以下 ・重症度割合 25%以上	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
							・発症から入棟までの期間 28 日 ・発症から 30 日以内の入棟者 60%以上 ・専任の管理栄養士配置を見据えて、リハビリテーション総合実施計画書の書式変更や益田赤十字病院との連携の推進 5.4 階病棟から回復期リハ病棟への流れの促進 6.回復期リハ病棟からくにさき苑（通所リハ・短期入所）への流れの促進	
		c.回復期リハ病棟の治療成績の集計分析	⇒	⇒	⇒		1.患者獲得への分析・検討を行う ・リハ科と回復期リハ病棟スタッフでの合同勉強会の実施 ・看護師と療法士を公式な FIM 研修会へ派遣 ・適正な評価につながるための定期的な勉強会の開催 2.地域住民や他の医療機関に啓発・営業活動を行う	
		d.回復期リハ病棟入院対象者の拡大や入院体制の見直し	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.益田日赤での出張転院相談継続実施	1.廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立 2.入院までの期間の短縮 3.在院日数の短縮の検討	
	⑤特殊疾患病棟の効率的な運用	a.特殊疾患病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 2.周辺施設、特に日赤との連携を進める 3.益田日赤での出張転院相談継続実施	1.特殊疾患病棟の在り方と PCFM の確立 2.入院対象者の確保と対象外のバランス確保 3.入院料、加算対象者の受け入れ強化 4.医療・看護対応力の強化 5.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み	
	⑥医療療養病棟の効率的な運用	a.医療療養病棟に関する情報収集と分析と目指す方向性	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.入院基本料 I 堅持のための患者確保 2.紹介患者のスムーズな受け入れを検討 3.周辺施設、特に日赤との連携を進める 4.益田日赤での出張転院相談継続実施	1.医療療養病棟の在り方と PCFM の確立 2.療養病棟入院基本料 1 の維持 3.在宅復帰機能強化加算の取得 ・年間 7 名の一般・包括からの入院受け入れ、在宅退院（介護医療院可能） 4.出来高算定項目への対応 5.医療・看護対応力の強化 6.明確な病棟目標の明示と目標達成への取り組み 7.入院透析の受け入れ 8.リハが必要な疾患が発症して 30 日以内の受け入れ 9.施設・在宅からの軽度の増悪の受け入れ 10.医療療養病棟の在り方についての理解 11.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算（長期療養生活移行加算：1 日につき 60 単位（入所日から 90 日間に限る））	
	⑦他組織（介護保険サービス）との連携強化による増収	a.退院後の調整強化	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護事業所との連携方法について検討する 2.患者・利用者の流れ（PCFM）の確立 3.在宅患者の機能維持・介護維持への取り組み	
		b.退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する	
		c.会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	⇒	⇒	⇒		1.会員と連携することで算定できる加算について検討する（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） 2.会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
7-5 病院 介護医療院の安定した運営	①計画的な介護医療院の運用	a.3 か年による病棟再編計画の策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～3 年の病棟再編計画の実行の検証と計画延長による更なる検討 2.介護医療院（＝在宅）への流れの構築 3.介護医療院の機能・メリットを生かした運営 4.令和3 年度介護報酬改定 LIFE への対応	
	②利用者安定確保	a.患者情報の収集と分析	⇒	⇒	⇒		1.集計した患者情報を活用して、医療センター内での患者コントロールに生かす 2.介護医療院の在り方と PCFM の確立 3.介護医療院の機能・メリットを生かした利用者の選定	
		b.効果的なベッドコントロールの実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.受入要件・基準の見直し 2.医療介護連携統括部主導によるベッドコントロールの体制強化、医療・介護連携委員会での調整 3.周辺施設、特に日赤との連携強化 4.日赤での出張転院相談継続実施	1 .会員との情報交換の充実 2 .連携会議（益田赤十字病院）の継続など 周辺施設との連携強化 3 .病床活用カンファレンスの活用し、入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る 4.介護医療院のメリットの活用 5.介護医療院における短期入所の検討 6.医療療養病棟の長期患者の介護医療院への移動により、介護医療院において加算（長期療養生活移行加算：1 日につき 60 単位（入所日から 90 日間に限る）） 7.在宅復帰支援加算取得の検討	
		c.紹介件数の向上	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.紹介患者のスムーズな受け入れを検討	1.会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供 2.近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.セラピストの介入、排泄ケア加算等の検討 3.令和3 年度介護報酬改定への対応	
		b.介護報酬外収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.介護報酬外収益の検討	
7-6 介護老人保健施設の安定した経営	①計画的な介護老人保健施設の運用	a.3 か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け。		
	②入所系サービス・入所利用者の安定的確保	a.幅広い高齢者を受け入れるための体制強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.松ヶ丘病院との連携強化（松ヶ丘病院退院後の受入れ、認知症患者の受入れ要請など）		1. 病床活用カンファレンス・医療介護連携委員会の活用により、重介護や困難ケースのスムーズな受入れを行う。 2. 幅広い高齢者を受け入れるため、計画的に訓練機器等を整備する。 3. 認知症対応力向上のための取り組みの推進 医療ニーズへの対応の強化 ・離苑への対応として防犯カメラを設置する。 4.Lot.AI 等、ロボットの活用を検討する
		b.変化する利用者動向に対応した運営の強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.長期利用者、入所・短期入所、通所リハの適正な振り分け		1 .益田赤十字病院・松ヶ丘病院相談員と情報交換を行い利用対象者(状況により急性期でも)の相談・調整を行う。 2 .市内の高齢者数や認定者数の把握・分析を行う。

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		c.リハビリテーション目的の利用者を増やすための取り組み	⇒	⇒	⇒			1.リハ科と協働して、病院 MSW との連携により、回復期リハ病棟および通所リハ利用者を対象に老健でのリハビリの必要性を検討し、入所・短期入所の利用者を選定する。 2.利用率が低下する時期の利用促進対策の検討 3.必要に応じ、短期間集中的(週4～5回)に個別リハを実施する。
	③短期入所サービスの適切な運用	a.利用者数の適正化・維持を図る	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.適正な数の設定		1.入所を優先しながら、10人程度の稼働の維持に努める。
		b.空床の利用促進	⇒	⇒	⇒			1.空床連絡に加え、適宜、居宅介護支援事業所や関係機関へ個別に紹介依頼をおこなう。 2.利用待機者を準備し、空床発生の調整に活用する。
	④通所リハビリテーション機能強化等	a.効率的な運営の検討	⇒	⇒	⇒			1.利用率向上のための対策を検討する。 2.現状調査・分析、検討を継続する。
		b.リハビリテーション機能のあり方（強み）についての検討	⇒	⇒	⇒			1.通所リハの方針・ビジョンの見直し。
	⑤収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.利用者数の確保。 2.科学的介護推進加算の算定。 3.在宅復帰機能超強化型の維持。
7-7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①計画的な居宅の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの兼務体制を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る		
	②利用者の安定的確保	a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市内他地域包括支援センターとの情報交換促進、連携強化（ex.定例会開催） 2.医療相談員・支援相談員の居宅ミーティング参加により、潜在的な利用者の発掘を行う		1.状況に合わせて、適切な新規利用者数確保の対策を検討する。
	③効率的な経営基盤の確立	a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの兼務体制を検討 2.管理者の養成 3.医療相談員・支援相談員の居宅ミーティング参加により、潜在的な利用者の発掘を行う		1.居宅ミーティング・南棟ミーティングを活用して検討する
		b.ケアマネジャーの質の確保	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部・中部地域包括支援センターケアマネジャーの居宅介護支援事業所兼務を検討 2.統括部内の人事異動により活性化を図る 3.男性ケアマネジャーの確保 4.特定事業所加算Ⅱの取得		1.事例検討会を行い、ケアマネジメント技術の向上を図る。
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.マンパワーを見据えた受入れ件数の再設定		1.より多くの加算がとれるよう、情報収集と体制づくりに努める。
7-8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①計画的な訪問看護の運用	a.3か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	×			令和3年度完了
	②効率的な経営基盤の確立	a.病院、施設との連携強化	⇒	⇒	⇒			1.必要に応じて、センター管理会を活用し、医師会病院からの利用の促進を図る

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.独自のサービスの立案・推進	⇒	⇒	⇒			1.インフォーマルサービスについて検討する
		c.セラピスト訪問によるリハビリ提供の積極的な実施	⇒	⇒				
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1.利用者数の確保。
7-9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①計画的な訪問介護の運用	a.3 か年によるくにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	×			令和3年度完了
	②利用者の安定的確保	a.新規利用者獲得策の立案	⇒	⇒	⇒			1.サービス提供体制を確認しながら、新規利用者確保のために、各介護事業所に働きかけを行う
	③効率的な経営基盤の確立	a.効率的な運営具体案の実施	⇒	⇒	⇒			1.改定した訪問記録用紙を活用して事務作業の効率化を図る。 2. BCP を策定し、災害時や感染症発生時の対応を確立する。
	④収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒			1. 認知症加算の算定を目指して、認知症実践者研修を受講する。
7-10 訪問リハビリテーションの安定した経営	①計画的な訪問リハの運用	a.3 か年による病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの策定	⇒	⇒	⇒		1.令和元年～令和3年の病棟再編計画、くにさき苑事業部短期ビジョン推進プランの実行	
	②訪問リハビリテーションの利用者確保	a.効率的な運営のための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.くにさき苑入所利用者への広報活動を実施 2.医療センター内での潜在利用者の掘り起し	
		b.地域のニーズに対応するための具体策立案	⇒	⇒	⇒		1.利用者の需要調査を継続実施する 2.圏域内の他事業所の事業を把握する 3.リハ診察困難者への対応	
	③収益の増収方法の検討	a.介護報酬等収益の確保対策	⇒	⇒	⇒		1.診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討 2.実施件数や実施期間などの分析と検討体制の確立 3.訪問リハの手引きの修正体制の確立 4.センター内および他機関（開業医、他の医療機関、居宅介護支援事業所、行政など）への定期的な啓発活動のシステム化 5.病院訪問リハ療法士の確保（合計6名） 6.病院訪問リハの回転率 90%～60%に調整方法の確立（病院目標：4680単位／年）	1.利用者数の確保。
7-11 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a.益田市との予算協議の継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.適正な予算確保に向けた益田市と協議を継続する。 【統括部】 〈中部〉 1.新設センター開設後、継続運営に適切な事業費の検証を行い、市との協議		
	②東部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながら適切に運営する	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の構築 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2.連絡会議 3.巡回訪問		

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.地域・関係機関との連携構築	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ新体制の周知とネットワーク構築 2.地域ケア会議の開催		
		c.地域住民への周知	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、新体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施		
	③中部地域包括支援事業の安定運営	a.益田市との連携を図りながら適切に運営する			⇒	【統括部】 1.益田市との協力体制の構築 ・感染症等での人員体制不足時 ・配置のない専門職の分野 2.連絡会議 3.巡回訪問 4.センターの好立地を活かし益田市各課との連携をより強化する		
		b.地域・関係機関との連携構築			⇒	【統括部】 1.地域や関係機関へ新体制の周知とネットワーク構築 2.関係機関、地域組織等への訪問実施		
		c.地域住民への周知			⇒	【統括部】 1.益田市と協力し、新体制の周知を図る 2.地域に出向き、住民へ相談窓口や介護予防の啓発活動実施		
	④東部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.東部中部のスムーズな引継ぎの実施 2.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 3.確実な保険請求体制の構築		
		b.ケアプラン作成の効率化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と実績件数の増加		
		c.関係機関との連携強化	⇒	⇒	⇒	【統括部】 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との情報交流や連絡連携体制の確立		
	⑤中部指定介護予防支援事業の安定運営	a.安定運営			⇒	【統括部】 1.東部中部のスムーズな引継ぎの実施 2.市のマニュアルに沿って、適切な介護予防支援・介護予防マネジメント支援を行う 3.確実な保険請求体制の構築		
		b.ケアプラン作成の効率化			⇒	【統括部】 1.市の提示するマニュアルに即したケアプラン作成の標準化 2.全体最適を視野とした業務効率化と実績件数		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						の増加		
		c.関係機関との連携強化			⇒	【統括部】 1.委託事業所、サービス事業所等関係機関との 情報交流や連絡連携体制の確立		
		⑥中部圏域移設に向けた 検討	⇒	⇒	✖	1.令和 4 年 4 月 1 日開設のため終了		
7-12 へき地医療施設 の安定経営	①益田市国民健康保険 医療施設の安定経営	a.地域ニーズに基づく安定した経営を行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1.益田市と情報共有を密に図り、地域ニーズに 適応した運営に努める		
		b.指定管理者として益田市と共同でして運営を 行う	⇒	⇒	⇒	【事業本部・美都診療所】 1.指定管理者として益田市と連携し安定運営に 努める		
	②へき地巡回診療出張 所の安定経営	a.無医地区への医療を提供する体制を維持する	⇒	⇒	⇒		1.巡回診療体制の継続	
		b.益田市と共同で住民ニーズにあった経営を行う	⇒	⇒	✖		令和 3 年 9 月 13 日小野診療所開設のため 終了	
		c.運営補助金の確保	⇒	⇒	⇒		1.継続して行う	
8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推 進 課 題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
8-1 計画的な人材の 確保と育成	①医師会職員への教育 体制の充実	a.研修体制の整備と研修機能の充実	⇒	⇒	⇒		1.全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成へ の制度化及び支援	
		b.新専門医制度への対応	⇒	⇒	⇒		1.制度・先進事例等の調査 2.新専門医制度への対応の検討 3.専門医育成計画の策定	
		c.研修医受け入れ体制の検討	⇒	⇒	⇒		1.各種学会の指定施設となるために各基幹大学 や病院との連携に努める 2.益田赤十字病院と協議（医学生の受入れも 含め）し、必要な条件整備を行う	
		d.認定看護師、特定行為のできる看護師等の資 格取得の促進	⇒	⇒	⇒		1.意欲と適正を見極め認定看護師、特定行為 のできる看護師等の資格取得を促進する	
		e.管理職、管理職候補者研修の充実	⇒	⇒	⇒		1.各職種にあった管理職研修への参加を促進 2.職能団体が実施する研修に参加	
	②医師の求人活動	a.医師確保対策に努める	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.病院事業部と連携し確保に努める	1.勤務病院選定理由等調査・分析 2.医師確保条件整備の検討 3.島根県（医師確保対策室）への働きかけと 連携強化 4.島根大学等への働きかけと連携強化 5.卒後教育・研修プログラムの検討 6.学会認定施設の取得を目指す 7.M 3 キャリアとの個別契約の実施 8.医師の働き方改革への対応（R6.4 月から） 9.繋がりの継続	
		b.医師招聘につながる処遇の検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.医師の働き方改革への対応 2.給与制度改革で調整した新医師給与・諸条	1.他病院等における状況について調査する 2.調査内容について分析する 3.就職希望医師の雇用形態別処遇の検討	

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						件を提示する。	4.当院にあった雇用形態のあり方を検討する 5.医師の働き方改革への対応（R6.4月から）	
		c.親父の背中プログラムの継続	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.合同会社ゲネプロとの連携維持 2.プログラムの継続とブラッシュアップ 3.合同会社ゲネプロとの契約内容について検討	1.ゲネプロとの連携を継続して行う 2.親父の背中プログラムの継続とブラッシュアップ 3.医師会病院が求める医師像の確立	
		③職員の安定確保	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.採用促進のための新たな制度を検討していく。 2.人材紹介会社を活用した即戦力確保を行う 3.既退職者等へのリクルート体制を整備しコンタクトを図る	1.不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを行う 2.潜在資格の掘り起し及びその職場を志向する職員の調査を行う 3.上記定員の見直しを基に、将来を見据えた５年程度の採用計画を立てる（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等）	
		b.採用活動の徹底	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を適宜実施 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を適宜実施 3.中高での企業参加イベント等に参加し、医療に目を向ける学生を増やす取り組みを継続する	1.WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う 2.学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う 3.中高生への働きかけ強化し、医療に興味を持つように、学生への早期に関係づくりを行っていく	
		c.給与制度の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革により新たに設定した給与体系を新卒採用に効果的に活用する 2.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ 3.応募動向の変化を分析する	1.競争力のある採用困難職種の初任給、各種手当等の見直しの実施	
		d.採用方法の検証と改善	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める	1.求める人材像の明確化するため、採用基準・方法等を再検証し、必要な人材確保に努める 2.事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る	
		e.多様な雇用の推進・検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.令和４年４月より新たな高齢者継続雇用（再雇用制度）を実施調整する。 2.高齢者継続雇用、障害者雇用、多様な働き方の受け皿として、業務支援課設置を目指し準備室を設置し体制検討を開始する。 3.介護技能実習生受入れがもたらす効果の分析を行う。	1.高齢者雇用、障害者雇用の推進 2.介護技能実習生の受入れ	
	④人材の育成	a.キャリア形成の支援	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費補助や休暇制度等の導入を検討する	1.令和４年度病院機能評価受審を機会とし、管理職教育の実践の場として活用する	
		b.管理職教育（経営・組織運営、労働関連法、人権、ハラスメントほか）の推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の教育制度を構築する 2.計画的な研修制度を整備し、定期的な研修を実施する。	1.令和４年度病院機能評価受審を機会とし、管理職教育の実践の場として活用する	
		c.職員教育体制の構築	⇒	⇒	⇒	【事業本部】	1.令和４年度病院機能評価受審を機会とし、	

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						1.職業人として必要な諸制度（労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他）についての教育方法について検討し制度化する 2.職種別の教育方法について検討し制度化する	管理職教育の実践の場として活用する	
		d.機能強化・安定運営等に必要な研修受講・資格取得の推進	⇒	⇒	⇒		1.部門長・部署長による研修参加の奨励 2.適切な研究研修費の割り当てを行う 3.各部門・部署独自の研修体制の構築	1.各種資格取得の推進 ・認定特定行為業務従事者・指導者 ・介護支援専門員 ・看護（介護）実習指導者 ・医療安全管理者 ・アセッサー ・老健リスクマネジャー ・第1種衛生管理者 2.各種研修受講 ・認知症介護実践研修・リーダー研修 ・権利擁護研修会 ・外国人技能実習制度、各種講習 ・研修の企画や仕組みの検討を県老健協会企画検討委員会で行う。
	⑤研修生、実習生の受入れ体制の整備	a.実習担当者の育成	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.石見高等看護学院等実習生の指導者を計画的に養成する		
		b.研修生、実習生の受入れの促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.魅力ある実習環境の整備ためソフト面での充実を行う		
	⑥医学生・看護学生への就学支援	a.奨学金制度の活用促進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.修学資金貸付対象者等、制度運用の見直しを検討する 2.ホームページ・求人ちらし等においてPRに努める 3.近隣高校を通じたPR活動を行う		
		b.石見高等看護学院との連携強化	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.引き続き定期的な人事交流と必要な非常勤講師の確保に努める 2.意見交換会の実施 3.新型コロナウイルス発生時の受入体制について再検討を行う。		
	8-2 働きやすい職場環境づくり	①常勤医師の負担軽減	⇒	⇒	⇒		1.医師の働き方改革への対応（R6.4月から） 2.常勤医師ニーズ等調査を実施する 3.精神面のフォロー体制（医師同士が支え合える医局を作る）の構築について検討する 4.医局会・モーニングカンファレンス等への参加について徹底する	
		a.常勤医のニーズの把握し問題点の把握や課題を洗い出す						
		b.課題への対応策検討、実施する				【事業本部】 1.人事給与制度改革により、新しい医師給与体系による働き甲斐のある勤務条件を整えることで定着化を目指す。	1.勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る	
		c.常勤医の休日・夜間の支援体制の整備	⇒	⇒	⇒		1.休日・夜間の支援体制の充実について検討、併せて休日・平日当直についての協力要請を行う	

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	②職員が安心・安全・健全に働ける健康経営の推進	d.タスクシフト・タスクシェアの推進	⇒	⇒	⇒		1.ワンチーム（多職種連携）での取り組み強化 2.多職種の病棟配置の調査・検討	
		a.ハラスメント対策・体制の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.ハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）防止の組織的な推進。 2.ハラスメント行為に対する処分方針を明確にする 3.広く職員の声を拾い上げる仕組み（意見聴取方法や体制）について検討を行う		
		b.職員の健康保持・増進活動の充実	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.健康経営宣言に基づき、職員の健康管理活動（健診結果のフォローや禁煙サポート等）や余暇時間を利用した健康づくり活動（リハ機器の時間外利用・運動教室等）を推進する 2.心の健康づくり活動（ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等）を推進する		
		c.福利厚生活動の見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.福利厚生制度の検証と見直しについて検討する 2.福利厚生活動について職員への周知を図る		
		d.安心・安全・健全職場環境づくりの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す 2.双葉会事業等を通じ部署内外の人間関係構築を支援する 3.職員への情報発信に努める	1.職業病ともいわれる腰痛予防のための、介護ロボット導入等の検討	
	③女性が活躍できる職場環境づくりの推進	a.仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.育児・介護関連休暇制度が取りやすい環境づくりを行う		
		b.職員保育所の安定運営	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外利用等の改善を図り、利用しやすい保育所を目指す。 2.感染対策を強化し職員の意識を高め安心・安全な保育を実施する。		
		c.ワークライフバランスの推進	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進（計画付与）などの徹底を図る		
	④多様な働き方に対応できる雇用制度の検討・整備	a.限定正職員（夜勤のできない看護職）、短時間正職員（フルタイムで働けない職員）等の雇用制度を検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.人事給与制度改革に基づき、働き続けられる制度の整備について検討する 2.新たに多様な雇用制度を令和４年４月１日に導入 3.新たな雇用制度の検証を行う。		
		b.定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.定年時期の延長について検討する 2.再雇用制度について検討する（再雇用期限や再雇用条件等） 3.コース別の新再雇用制度を令和４年４月１日に導入		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						4.新たな雇用制度の検証を行う。		
8-3 労働意欲の向上 につながる人事、給与制度の検討	①人事・給与制度の全般的見直し	a.人事・給与制度の全体的な分析・検証・見直しを実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.分析結果に基づき給与制度を改定する 2.円滑に新たな給与制度の導入を行う 3.新人事給与制度を令和4年4月1日に導入 4.人事給与制度の改定の検証とより効果のある制度へのブラッシュアップ		
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a.人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.管理職の人事異動および役職登用に係る協議体の設置を行う（人事調整会議の設置） 2.新たに副主任の設置 3.役割等級制度の導入・運用 4.新人事給与制度に伴う人事異動の実施		
	③人事考課制度の見直し	a.人事考課制度の検証・見直し	⇒	⇒	⇒	【事業本部】 1.外部コンサルタントにより効果的な人事考課制度への見直しを行った。		
8-4 島根県立石見高等看護学院の管理・運営	①島根県との緊密な連携	a.適切な情報交換と意見交換の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.定期意見交換会（運営方針、事業計画、課題等）を実施する。 2.県と連携して、県内の看護師確保対策に向けた取り組みを実施する。 3.副学院長、看護教員等の任用のあり方について、常に県と課題を共有し、今後の任用方針について継続的に検討する。 4.文科省「新たな学習支援制度」に継続して申請し、学生の経済的支援について県と緊密な連携を図る。		
	②魅力ある教育カリキュラムの構築	a.2022年カリキュラム改正の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員の新カリキュラム改正の教育内容についての理解促進を図り、学生にわかりやすいシラバスを策定する。 2.地域と連携した魅力ある基礎看護教育活動について、具体的に、魅力ある教育プログラムとなるよう継続的に検討する。 3.地域での実習教育のあり方検討及び実習施設等との具体的な調整を行い、魅力ある教育プログラムを策定する。 4.カリキュラム改正による予算・経費を確保し、新カリキュラムへの円滑な移行に取り組む。		
	③入学定員の確保	a.看護師国家試験高合格率の維持	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.年度当初に学院目標、教務部目標を設定し、目標達成に向けた学年教育計画を立案する。 2.看護師国家試験に向け、計画的に模擬試験などの試験対策を順次実施する。		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
		b.広報活動の展開	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.教職員、学生ブログを計画的に更新し、情報発信に努める。 2.地元益田市と協力して、看護学生と地域子どもとのふれあい交流事業を実施する。 3.益田市・益田市教委員会と共催し、「小学生のための看護体験」を開催する。 4.学院の広報の一環として、高等学校等からの学校見学・研修希望には可能な限り対応する。 5.学院の各種行事について、マスコミに情報提供を行い、広報活動を活用する。		
		c.学生募集活動の促進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.夏季休業の期間等を活用し、オープンキャンパス、学院見学会を実施する。 2.業者等が実施するガイダンスに積極的に参加し、進学相談等に対応する。 3.県内の高校を訪問し、進路指導担当教員への状況提供を行う。 4.市町村（公立病院含む）との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努める。		
		d.更なる魅力アップの検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.各種評価・アンケートを実施し、本学院の看護教育の検証を自ら実施する。 2.本学院の「協同の精神」の理解を深めると共に、とさなる発展に資するよう取り組む。 3.地域社会との連携を念頭に、看護教育内容の充実、魅力UPに取り組む。 4.魅力ある入学試験のあり方について、継続的に検討を行う。		
		e.4年制大学（養成所の4年制化を含む）の調査・検討	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.情報の収集を行う。 2.島根県立大学との連携を図る。 3.要望活動等の対応を行う。		
	④必要な看護教員・講師の確保	a.関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.益田地域医療センター医師会病院と連携・協働し、看護教員の育成を行う。 2.看護教員確保に向け、県立中央病院・益田赤十字病院・松ヶ丘病院との人事交流などの検討を行う。 3.看護教員適任者の計画的育成について、検討を行う。 4.看護教員資格取得への支援のための予算を確保する。		
		b.講師の負担軽減策の検討と実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.カリキュラム改正に伴う講義日程等の講師要望等を把握し、調整・再編を行う。 2.円滑な遠隔授業実施のため、安定した通信環境・実施体制の確保		

令和4年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
	⑤看護教員の教授力の向上					3.必要に応じて、講師確保のため県及び関係機関等との意見交換を実施する。		
		a 研修機会の増と、効果的な研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.島根県教員継続研修の受講を推進する。 2.教員指導力向上対策（研修会等）を実施する。 3.各種教員研修への参加支援のための予算を確保する。		
		b 臨床現場研修の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.専任教員の臨床現場での指導力向上のため、短期臨床研修、長期臨床研修を計画的に実施する。		
		c 自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.キャリア別達成目標を運用・実施する。 2.自己研鑽支援休暇制度を設け、活用を促進する。		
		d 学会等への積極的参加	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学会活動の支援を行う。 2.教員の教育研究の取り組みを促進する。		
	⑥学院環境の整備	a 学び舎として快適環境の整備	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生の美化意識の高揚及び美化活動の推進を図る。 2.植栽等の適正管理を継続し、施設環境を維持する。 3.危機管理マニュアルに沿った必要な設備整備、運用を行う。 4.継続的な新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施する。		
		b 常時点検による適切な整備の実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.施設・備品設備のチェックを行い、必要な予算を要求する。 2.備品（教育備品を含む）の計画的更新計画の策定し、予算確保を要望する。		
	⑦地域への貢献	a.卒業生の県内就業率の向上	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.県内病院と学生の交流事業を実施し、学生の県内就職支援を行う。 2.卒業生のホームカミングティ事業を実施し、卒業・就職後の状況を把握し、離職防止に取り組む。 3.市町村（公立病院含む）との連携を密にし、地域推薦受験生の確保に努める。 （②C4 再掲）		
		b.地域貢献策の検討・実施	⇒	⇒	⇒	【石見高看】 1.学生のボランティア活動への参加を促進する。 2.学院イベントへの住民参加を促進する。 3.地域の看護師との合同研修会の企画・運営を行う。 4.体育館等、学院施設の地域への貸出を行う。		

令和４年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
						5.地域の人々との関わりを促進する「地域・看護論」を新カリキュラムの正課の学習として組み込み、地域を知るための看護学習に取り組む。		
９ 計画に基づく必要な施設等の整備充実			計画年度			事業本部・その他	病院事業部	くにさき苑事業部
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	02	03	04	実施事業（計画）	実施事業（計画）	実施事業（計画）
9-1 医療センターの新たな施設整備	①医師会施設の計画的整備	a.施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	⇒	⇒	⇒	1.単年度予算計上のための建築設備工事計画の作成と実施	1.定期的な修繕・設備更新の実施	
		b.施設管理システムや体制の検討	⇒	⇒	⇒	1.電子マニフェストの導入と運用（２年度導入のため中止） 2.空調システム運用の PDCA 管理の実施（継続中）		
	②省エネ、CO2 削減対策	a.省エネ新技術の導入促進	⇒	⇒	⇒	1.補助金活用に向けた情報収集の実施		
	③環境の美化	a.総合的な環境美化対策の推進	⇒	⇒	⇒	1.委託業者との契約の見直し（２年度と同内容で再契約） 2.OB 会と連携し継続的に活動する。 3.安田自治会の花壇ボランティア活動が終了し、新たな花壇管理体制を検討する。		
	④交流の場の整備	a.交流の場の設置の検討	⇒	⇒	✕	1.病棟再編計画での検討を視野に入れる（実現できず）中止		
9-2 施設設備の老朽化への対応	①昭和 61 年建設病院本館棟の建て替え準備	a.本館棟建替資金の計画的積み立て	⇒	⇒	⇒		1.計画期間（H24 年度から R29 年度）において、収支相償上の積立限度額範囲内で積立てを行う	
	②介護施設整備を実行	a.益田市事業の検討と要望	⇒	⇒	⇒			1.緊急性・重要性を検討し、運営協議会において要望提出。
	③地域包括支援センター中部圏域の移設	a.移設後の体制を検討	⇒	⇒	✕	1.令和４年４月１日開設のため完了		